

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
A M						
スタッフ	岡田	鈴木	厚東	慶野	福井	井上
紹介初診	野地、渡邊裕	鳥飼、矢田圭	長堀、大山	角田、福田	栗原、前田菜	山本雅、田中
再診	井上、山田昌、角田 鳥飼、田中〈偶〉 大山〈奇〉 眼窩 (今野・齋藤恒 津田・山田健) ※9月から偶数週のみ	山本雅、大原 前田菜、金井 高間〈偶月第1週〉	片岡、松木、福井 久須見、角田 鳥飼、矢田圭 伊東〈第2週〉 前田菜〈第3,4,5週〉 黄斑 (岡田)	厚東、片岡、栗原 渡邊裕 早川〈奇〉 松崎〈偶〉	松木、渡辺敏〈偶〉 田中〈奇〉 大山〈奇〉 小児 (鈴木・満川 濱〈第1,4,5週〉 富田・野地)	長堀、大原 福田、矢田圭 大山〈第2,4,5週〉 堀江〈奇月第4週〉
P M						
再診	松木	山本雅、大原 高間〈偶月第1週〉		山本雅、栗原	松木、田中〈奇〉 福井、大山〈奇〉	
専門外来	眼炎症 岡田・慶野・渡辺交 中山・肥留川・安藤 林・長堀・黄・角田 田中・大山	角膜 山田昌・福井・重安 藤井・久須見・角田	緑内障 吉野〈第2週〉・北 山本雅・前田紗 福田	黄斑 岡田・片岡 山本亜・黄 前田菜・渡邊裕	神経眼科 気賀沢〈奇月第2週〉 渡辺敏〈偶〉	
	網膜硝子体 井上	小児近視外来 (自由診療) ※10月開始予定 鈴木・野地	黄斑 岡田・片岡 前田菜・渡邊裕	角膜 山田昌	小児 鈴木・満川 濱〈第1,4,5週〉 富田・野地	
			水晶体 松木	眼炎症 慶野		
			網膜硝子体 厚東			

イベント情報

<第68回東京多摩地区眼科集談会>

2025年11月8日(土) 14:30～17:00 場所：杏林大学 大学院講堂

会費：1,000円(日本眼科学会認定専門医1単位)

教育講演：「緑内障診療のアップデート」北 善幸 先生(杏林大学医学部附属杉並病院 眼科 教授)

<第27回西東京眼科フォーラム>

2025年11月26日(水) 19:00～21:00 場所：吉祥寺エクセルホテル東急 8階

会費：1,000円(日本眼科学会認定専門医1単位)

特別講演：「涙道疾患のup-to-date」白石 敦 先生(愛媛大学大学院医学系研究科 眼科学講座 教授)

<16th Eye Center Summit>

2026年4月25日(土) 17:30～19:40 場所：丸ビルホール(予定)

会費：2,000円(予定)(日本眼科学会認定専門医2単位)

特別講演1「未定(前眼部)」西田 幸二 先生(大阪大学 眼科学教室 主任教授)

特別講演2「未定(後眼部)」門之園 一明 先生(横浜市立大学 視覚再生外科学教室 主任教授)

<第16回東京多摩眼科連携セミナー>

2026年5月9日(土) 14:30～17:00 場所：杏林大学 大学院講堂

会費：1,000円(日本眼科学会認定専門医1単位)

教育講演：「未定」高橋 秀徳 先生(自治医科大学 眼科学講座 准教授)

編集部からのコメント

日本には二十四節気といって、四季をそれぞれ6つに分けて季節の移り変わりを感じ取る風習があります。私が最員にしている京都の割烹では節気ごとに献立を変えて、料理と器でもてなしてくれます。ただ最近は四季もなくなり、長い夏と冬の二季になってきました。10月まで真夏日があるようですので、夏号のニュースレターも季節外れではないかも知れません。本年はアイセンターに多くの専攻医とVRフェローが加わりました。私たちアイセンターのスタッフも新たな気持ちで臨床に学術に臨んでいきたいと思っています。(M.Y.)

Kyorin Eye Center
Newslettervol. 73
Summer
2025

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2 杏林アイセンター Tel: 0422-47-5511 (ext. 2606) Fax: 0422-46-9309

◆アイセンター新入局員の挨拶<1-3> ◆イベント情報<4>
◆フォトアルバム<3> ◆編集部からのコメント<4>
◆2025年度外来表<4>
＜執筆者：括弧に明記 production：大原裕美、福田泰雅、仲嶌みずき＞

アイセンター新入医局員の挨拶

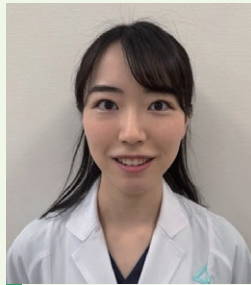
20年ぶりに日本で万博が開催されており、コロナ禍も落ち着いてきたことを感じております。学会や同門会、忘年会、歓送迎会も対面で開催することができ、大変うれしい状況です。

今年度は6名と多くの専攻医が杏林アイセンターに入局され、VRフェローとして新たに1名の先生にアイセンターのメンバーとして加わっていただきました。専攻医の先生方は指導医の先生方に教わりながら病棟・外来業務や手術助手を精一杯頑張っておられ、早速即戦力として活躍されております。また、VRフェローとして来られた先生も、当アイセンターならではの多くの症例や希少な症例を目の当たりにして、大変精力的に診療されています。今回は、これからの杏林アイセンターを担う諸先生方からの挨拶と紹介をさせていただきます。



上段左から岸衛史、王安暎、須長小百合
下段左から宇田川礼奈、千葉久実、牧岡彩

<新専攻医>



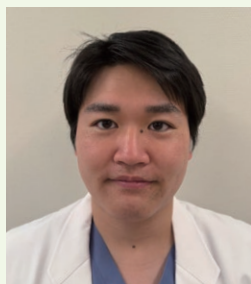
宇田川 礼奈

今年度4月から入局させていただきました宇田川礼奈（ウダガワ レナ）と申します。埼玉県出身、出身大学は筑波大学、そしてさいたま赤十字病院にて初期研修を行いました。初期研修で眼科ローテした際に顕微鏡下手術の繊細さと手術の多様性に興味を持ち、視機能改善により患者さんのADLやQOL向上に携われることから眼科医を志しました。杏林アイセンターを見学した際に、各分野にスペシャリストの先生方がいらっしやり、他に類をみない症例数と手術件数の多さ、充実した環境に感銘を受けて、入局させていただきました。未熟で至らぬ点多いと思いますが、患者さんに寄り添い多摩地域の眼科診療に貢献できる医師になるべく精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



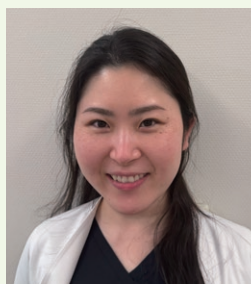
王 安暕

今年7月より眼科後期研修医としてお世話になっております、王安暕（ワン アンジエン）と申します。中国・上海出身で、2年前に来日し、それ以来、名古屋大学医学部附属病院にて初期臨床研修を行ってまいりました。大学時代の後輩の一人が、6年前に杏林大学で初期研修を受けており、「杏林アイセンターは非常にすごい」と話していたことがございます。その言葉が心に残り、実際に見学に向いました際には、最先端の検査機器が数多く整備されていること、ならびに専門外来が非常に充実していることを自分の目で確認し、大変感銘を受けました。臨床・教育のいずれにおいても高い水準を有する杏林アイセンターで、ぜひ学ばせていただきたいという思いを強くいたしました。日本語は未だ未熟で、言葉の壁の高さを日々痛感しております。何かと至らぬ点多々あるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



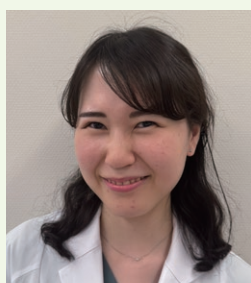
岸 衛史

今年度より入局させて頂きました岸衛史（キシ エイジ）です。埼玉県出身で、杏林大学卒業後は新潟県の長岡中央総合病院で初期研修させて頂きました。大学ではハンドボール部でした。元々眼科志望ではありませんでしたが、厚東先生の手術見学时に眼科に興味を持ち、その後初期研修で眼科を回り、眼底の魅力に取りつかれ眼科医になることに決めました。杏林アイセンターでは網膜硝子体はもちろんのこと、その他の領域も専門の先生がおり、多様な疾患に触れることができ、日々勉強させて頂いております。まだまだ至らないことばかりですが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



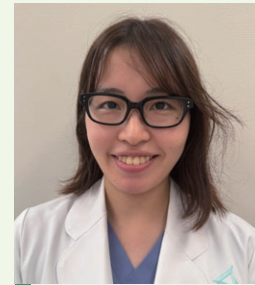
須長 小百合

本年度より入局させていただきました、須長小百合（スナガ サユリ）と申します。東京女子医科大学を卒業後、成田赤十字病院での初期臨床研修、東京科学大学消化器外科で2年間の外科後期研修を経て、眼科へ転科させていただくこととなりました。眼科は専門性が高く、視覚という患者様のQOLに大きく関与するため、やりがいも非常に大きい診療科であり、毎日充実した日々を過ごすさせていただいております。杏林大学アイセンターは症例が豊富で施設も充実しており、忙しい中でも刺激的で楽しく研修ができる環境が整っているため、改めて当院で研修できることへのありがたみを実感しております。まだまだ勉強中の身でありご迷惑をおかけすると思いますが、日々精進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



千葉 久実

今年度より杏林大学アイセンターに入局させていただきました千葉久実（チバ クミ）と申します。東京都国分寺市の出身で、群馬大学を卒業後に杏林大学で初期研修を修了いたしました。初期研修時にアイセンターで学ばせていただいた際に、アイセンターの専門分野の広さと圧倒的な症例数に驚き、この恵まれた環境で勉強させていただきたいと強く感じ入局を志望致しました。まだまだ知識、技術ともに未熟で至らぬ点多いとは思いますが、日々の学びを大切にしながら、生まれ育った多摩地域の眼科診療に貢献できるように精進して参りたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。



牧岡 彩

今年度より入局させていただきました牧岡彩（マキオカ アヤ）です。東京都出身で、杏林大学卒業後、杏林大学医学部付属病院で初期研修をさせていただきました。大学ではゴルフ部に入学しており、医局のゴルフコンペにも参加させていただきました。学生の中から杏林大学アイセンターに憧れを持っており、今年度入局し一員として働かせていただけることに感謝申し上げます。日々多くの症例に触れることができる環境に甘んじることなく、患者さんへの感謝の気持ちを忘れずに研修して参ります。至らない点が多く、御迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願いいたします。

<フェロー>



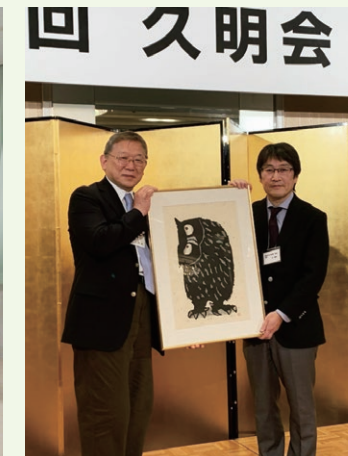
矢田 圭介

本年4月よりVRフェローでお世話になっております矢田圭介（ヤタ ケイスケ）と申します。私はこれまで東邦大学佐倉病院で網膜硝子体手術を中心に診療してまいりました。今回、井上教授はじめ皆様のご厚意で硝子体手術のメッカである杏林アイセンターで勉強させて頂けることとなり大変うれしく思っております。まだ赴任したばかりですが、素晴らしい環境と圧倒的な症例数に毎日刺激を受けております。至らぬ点ばかりですが少しでも杏林アイセンターに貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

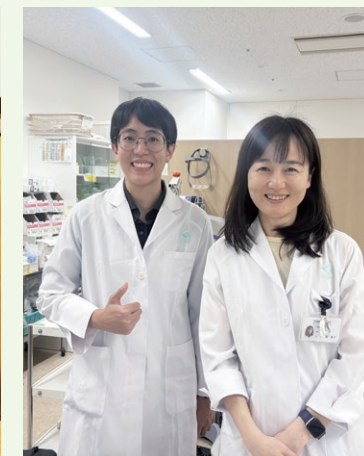
第30回日本糖尿病眼学会総会フォトアルバム



浦壁昌弘先生 オープンカンファ 2025年6月18日



久明会にて 北教授に版画贈呈



Dr. Pantaree Choosri (Chiang Mai University Hospital) 見学



第17回樋田メモリアルカップ 2025年5月25日



Dr. Yoshihiro Yonekawa Kyorin Grand Rounds 2025年7月15日